

「MeVOs に対する血栓回収療法において小中口径吸引カテーテルに 6fr DAC を併用した quadruple coaxial system の有用性についての検討」

この研究に関する科学的・倫理的妥当性については、当院の「臨床研究審査委員会」で審議され、その実施について病院長より許可を得ています。この研究の実施期間は、2024 年 4 月 15 日から 2024 年 12 月 31 日までを予定しています。

【研究の意義・目的】

Medium vessel occlusions (MeVOs) に対する血栓回収療法 (Mechanical Thrombectomy: MT) において血管径の細さから 3MAX、vecta 46 といった小中口径吸引カテーテルが多用されています。しかし、血管の屈曲蛇行により治療部位とガイディングシステムからの距離が遠い事などで治療に難渋することがしばしば経験します、Distal access catheter (DAC) はガイディングシステムとマイクロカテーテルの中間に位置し治療デバイスの操作性を高め、より安全に治療を可能とされています。実際に脳動脈瘤に対する血管内治療においては多用されていますが、脳梗塞に対する血栓回収療法での使用の報告は未だ少ないのが現状です。今回、MeVOs に対する血栓回収療法において小中口径吸引カテーテルに 6fr DAC を併用した方法を quadruple coaxial system と名称し、その実臨床での有用性について検討することを計画しています。

【研究の対象】

小倉記念病院において 2022 年 3 月 1 日から 2024 年 2 月 29 日の間に、MeVOs (M2~3, P2~3, A2~3) に対して血栓回収療法を施行した症例のうち小中口径吸引カテーテルに 6fr DAC を併用した症例を対象としています。

【研究の方法および情報の取扱い】

ご提供いただく情報は、診断名、年齢、身長、体重、既往歴、画像検査結果、神経症状などです。これらの情報は、通常の診療で得られた診療記録より抽出しますので、新たに身体的及び経済的負担が生じることはありません。

得られた情報は、個人情報漏えいを防ぐため、お名前、住所などの個人を特定する情報を削除した上で研究用の番号で管理し、当院の研究責任者・中澤 祐介の責任の下、保管・管理されます。また、本研究の結果について学会発表や論文掲載等を行う際は、個人が特定できる情報が含まれないようにした上で、公表します。

【利益相反について】

この研究は特定の研究者や企業の利益の為にを行うものではありません。また、この研究により患者さんの利益（効果や安全性など）が損なわれることもありません。

【連絡・問い合わせ先】

この研究や個人情報の取扱いに関するご質問やご相談等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。またご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

なお、対象となる患者さんの情報がこの研究に用いられることについて、患者さん（もしくは患者さんの代理人）にご了承いただけない場合には、研究対象としないのでお申し出ください。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。

連絡先：

小倉記念病院 脳神経内科 担当者 中澤 祐介

〒802-8555 北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号

電話 093-511-2000（代）